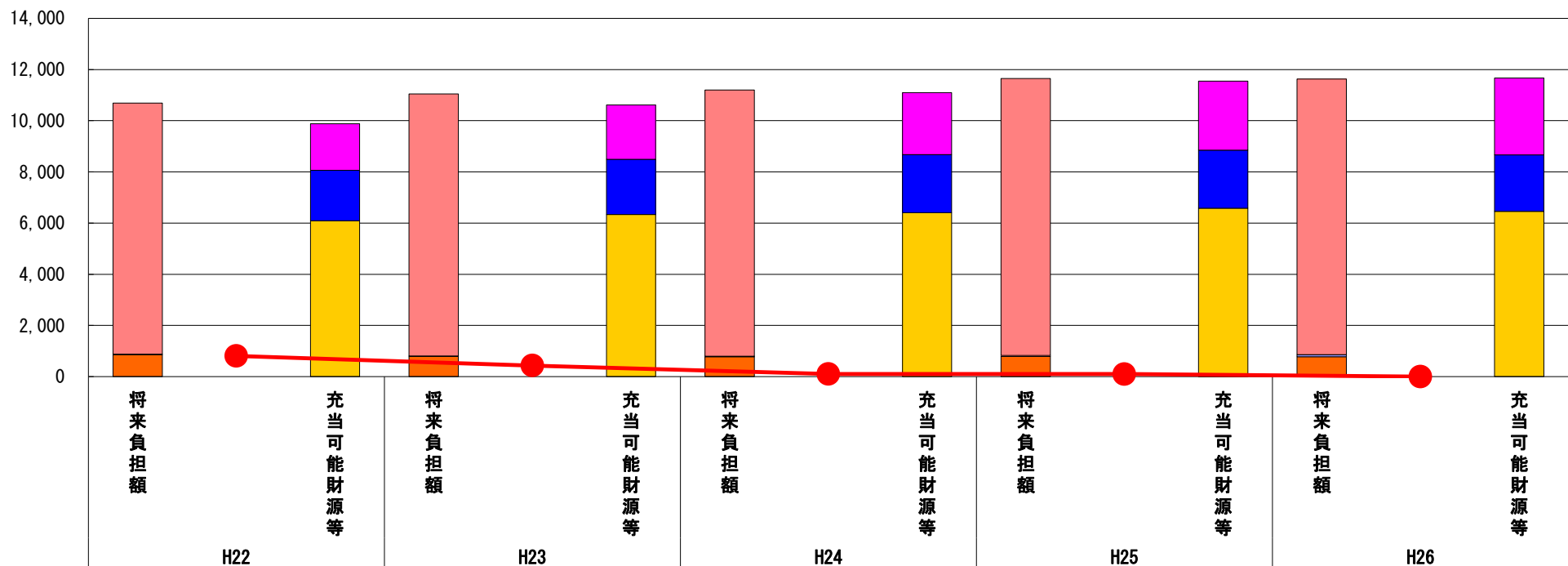


(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成26年度

福岡県大任町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		9,806	10,236	10,393	10,817	10,770
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		-	-	-	-	-
	組合等負担等見込額		28	23	22	43	78
	退職手当負担見込額		857	790	779	785	783
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		1,819	2,120	2,420	2,695	3,005
	充当可能特定歳入		1,970	2,163	2,264	2,266	2,205
	基準財政需要額算入見込額		6,094	6,332	6,408	6,584	6,457
(A) - (B)	将来負担比率の分子		808	433	102	100	▲ 36

分析欄

一般会計に係る地方債の現在高は、過疎対策事業債や公営住宅建設事業債の新規発行に伴い、年々増加傾向にある。しかし、充当可能財源である基金等も増加しており、将来負担比率の分子は、平成23年度以降、減少している。地方債の元利償還がピークとなる平成30年度以降は、現在高を減らしていく方向で努力していきたい。

※平成27年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。